

楠の葉新聞

記事内容

- キャリア教育とは
- 特集 岡中の特色ある教育
- 今年の総合的な学習の時間

特集 「岡中の特色ある教育」
本校で育てたい生徒像をもとに考えたキャリア教育の学習活動計画を裏面に掲載

そもそもキャリア教育とは？

生き方を学ぶ・人づくり教育

キャリア教育と言う言葉が耳にしたことがありませんか？平成十一年に国が言葉として取り上げ、平成十四年から学校教育の中に位置づけられた言葉です。職業観や勤労観が重要な時代となったことを知らせることが目的でした。皆さんの中には中学校時代に職場体験学習を経験されたこともいらっしゃるのではないのでしょうか？はじめは職業体験という表現もありました。現在は職場体験が主流です。

親や勤労観を身に付けるための能力として、基礎的・汎用的能力をまとめました。(別資料1)

社会に出て働くコトの意義やなぜ働くのかなど職業観を考えながら「自分の生き方」、「どう生きていけばよいか」などを考える教育を行うこととして

います。そこで学校では、生き方に加えてどのような社会人に育って欲しいかを具体化して教育活動を計画することにしました。

本校ではこの教育活動をキャリア教育と位置づけて学校で行う全ての活動を生き方・人づくりと関連づけて教育活動を行います。(別資料2)

キャリア教育はこども

高校や大学への進学が学校教育のメインになってしまい、生き方や働くこととの学びが少ないのではないかと危惧から生じたものでした。しかしココ

資料2 岡富中のキャリア教育でめざす生徒

「ふるさとを学び、ふるさとを知り、ふるさとについて考え、ふるさとに貢献できる岡富中卒業生」

資料1 基礎的・汎用的能力

- 人間関係形成・社会形成能力
- 自己理解・自己管理能力
- 課題対応能力
- キャリアプランニング能力

今年の総合的な学習の時間

総合的な学習の時間には何をしたいの？

総合的な学習の時間(以下「総合」という時間があります。昔は「クラブ活動の時間」や「創意の時間」、「ゆとりの時間」として使われていた時間です。本校では学校行事を柱に週2時間総合の時間を行っています。大きな目的は前記事にあるキャリア教育のめざす生徒像を実現させることです。1年生ではふるさとを学び知り、2年生ではふるさとについて考え体感し、3年生ではふるさとに貢献することをテーマに総合を計画しています。

ものつくり体験(一年)や修学旅行自主研修・職場体験(二年)、岡富プロモーションビデオ・ふるさとパンフレット制作(三年)などを予定しています。これらの活動を通してキャリア教育でめざす生徒の姿に育てていきたいと考えています。体育祭、がその発表の場にもなっています。子どもたちが、めざす生徒像の姿を、そのような視点で学校行事や授業を見ていただくとありがたいです。



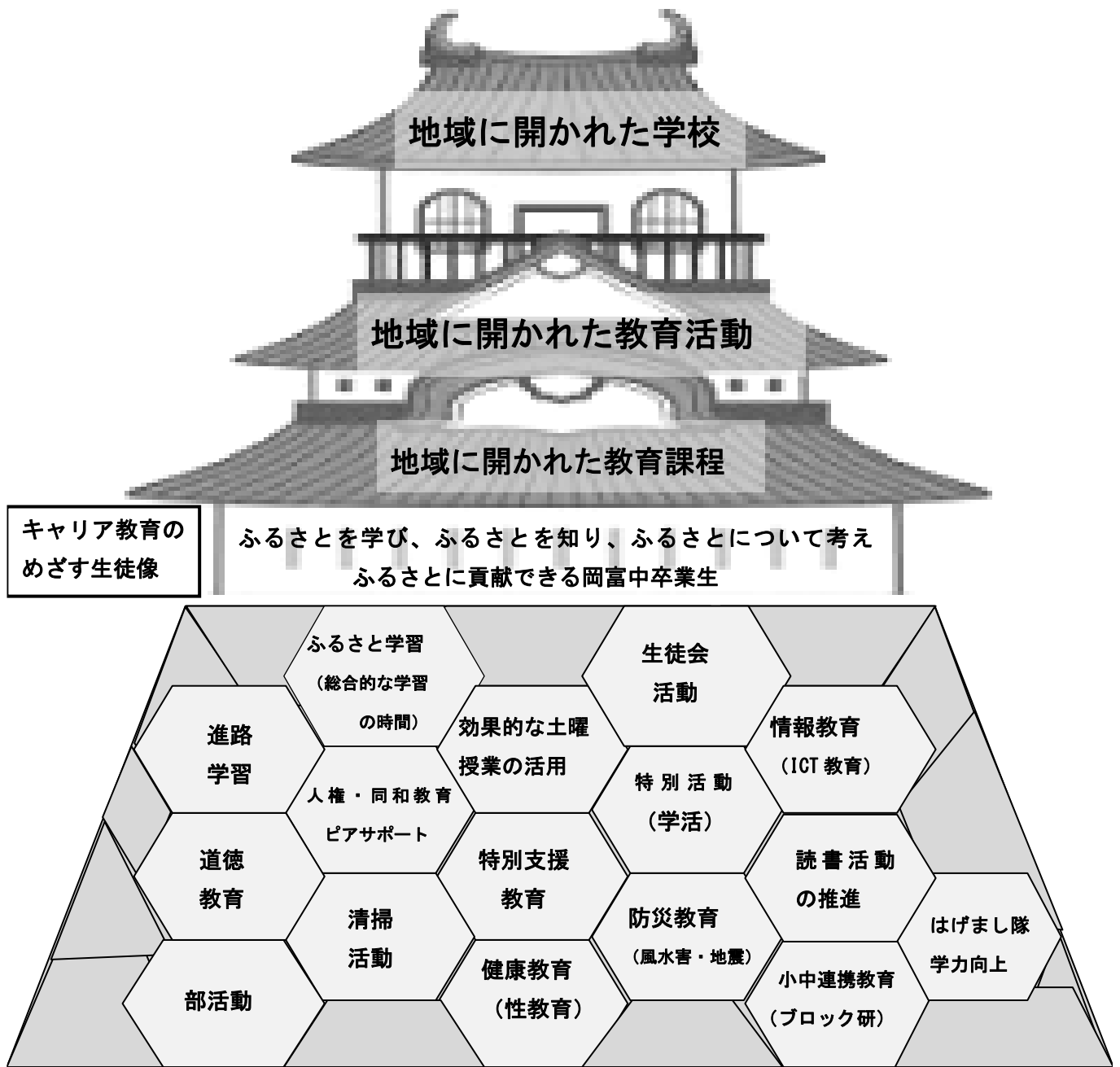
総合の時間の主旨や目的をご理解

今年も土曜授業が試行されます

延岡市は5年前から年に数回土曜日に授業を行ってきました。今年も年間6回土曜授業が行われます。宮崎県内では公立の小中学校では延岡市だけの取組です。全国的に見ると2000校近くの学校が土曜日の授業を実施しています。延岡市では学力の向上を目標に試行がスタートしました。土曜日に授業すれば学力が上がるわけではありません。子どもたちと教師が余裕を持って学校生活をおくれるように土曜日に授業を行うことで平日にゆとりを生み出そうというものです。

本校でも年間6回18時間の土曜授業を計画しています。その中には総合の時間もあれば、生徒会活動や参観日もあります。土曜日に3時間授業を行えば、平日に3時間余裕ができます。その3時間を使って教員の研修や会議を行ったり、生徒の教育相談を行ったりします。スケジュールが窮屈だったところを年間18時間のゆとりをつくることで子どもと関わる時間が増え学級経営や諸活動が円滑になると考えています。

また、土曜日にしかできないような教育活動を計画することで、より本校のめざす生徒の姿に近づけることができるとも考えています。「土曜日の授業面倒だ」「不便だ」と思えばそんな授業内容にしかありません。学校が工夫を凝らして土曜日の授業を有意義なものにできれば土曜授業の在り方が変わってくると思います。何よ本年度、キャリア教育を理解していただくことを目的として通信を発行していきたいと考えています。岡中の教育方針や人づくりの考え方を保護者や地域の方々とともに考えていく機会になればと思います。兼々ご意見をお寄せ



□ 各学年の活動内容

- 1年 ふるさとを知る . . . 豊堤・城山・内藤家・今山など岡富周辺のふるさとを学ぶ。
- 2年 ふるさとに関わる . . . 延岡に関わっている個人や団体の活動に触れてふるさとを体感する。
- 3年 ふるさとを発信する . . . これまで学んできた知識やスキルを活用してふるさとを様々な方法・機会広く発信する。